

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書1章38節（新約聖書100頁）

マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

祈りは恵み

神様への願い事、祈るのは自然なことです。しかし聖書には主の名をみだりに唱えてはならないとあります。つまり神様を自分の願いどおりにすることはできません。御利益だけを求めてもその通りにはなりません。

イエスは、神様があなた方に必要なものをご存じだから「天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ」と祈りなさいと教えられました。

神様は私たちに必要なものをご存じだから、それを祈り求めなさいということです。聖書を読んで、自分をふりかえり、神様は今、私に、私たちに何が最も大切で、必要だと思っておられるのか、それを祈り求めなさいということです。

マリアは天使のお告げに「どうして、そのようなことがありえましようか」と疑いましたが、最後に「お言葉どおり、この身に成りますように」と祈りました。神様のご計画が信じられないのは罪ではありません。わからなくても信じ委ね、祈れるのは恵みです。

しばらく黙祷しましょう。

祈りましょう

私たちに必要なものを与えてくださる主よ。あなたは私たちが願う前から、わたしたちに大切に必要なものをご存じです。どうか救い主を迎える季節に自らの生活をふりかえり、あなたの恵みと導きに気づきすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちにクリスマスを迎えることができますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの時間を過ごさせてください。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン